

## 平成24年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 : 平成24年12月11日(火) 13:30~16:30
2. 場 所 : TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター5Fホール5A室
3. 出席者 : 藤田委員長、沖野委員、奥野委員、駒田委員、西條委員  
辻本委員、中村委員、長谷川委員、山村委員
4. 議 事
  - (1) ダム等の定期報告(案)
    - 1) 蓮ダム 定期報告(案)
    - 2) 寒狭川堰 定期報告(案)
    - 3) 徳山ダム 定期報告(案)
  - (2) 徳山ダム建設事業 事後評価(案)
  - (3) 「第4回長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会」からの報告
  - (4) その他報告
    - 1) 平成23年度 年次報告
    - 2) 平成24年の主な出来事
  - (5) 審議概要等の確認

(1) ダム等の定期報告について

1) 蓮ダム 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた蓮ダムの定期報告書（案）について、審議を行った。

その結果、蓮ダムは治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、蓮ダムについては適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 洪水調節

- ・ 蓮ダムの防災操作は、平成6年洪水を契機としてダム下流河道の状況に応じて変更しているが、平成23年9月洪水において特例操作を行わざるをえなかったことを鑑みると、ダム下流河道の整備進捗状況を把握し、より安全で効率的な防災操作について検討する必要がある。

ii) 利水補給

- ・ なし

iii) 堆 砂

- ・ なし

iv) 水 質

- ・ 富栄養化していないのにアオコが発生していることから、青田川等の流入河川上流部の発生源などを確認するための調査を実施する必要がある。その旨を今後の課題に取り入れてはどうか。

v) 生 物

- ・ ダム湖内のカモ類の確認個体数は減少しており、カワウが増加しているが、直接競合関係にはないと考えられる。カモ類の動向について行動観察を含め調査を行う必要がある。その旨を今後の課題に取り入れてはどうか。

vi) 水源地域動態

- ・ なし

○定期報告書については、了承する。 委員からの意見等は、提案（発言）の趣旨を踏まえて定期報告書に反映させること。

## 2) 寒狭川堰 定期報告について

### 【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた寒狭川堰の定期報告書(案)について、審議を行った。

その結果、寒狭川堰は、流況改善について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、寒狭川堰については適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

#### i) 流況改善

- ・ 瀬切れはだいぶ改善されているが、まだ多いのでこれを解消することができるように一層努力されたい。

#### ii) 水 質

- ・ 一時期環境基準値を超えていた糞便性大腸菌の最近の低減については、地域との連携やフィードバック等の検討をされたい。

#### iii) 生 物

- ・ なし

○ 定期報告書については、了承する。

### 3) 徳山ダム 定期報告について

#### 【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた徳山ダムの定期報告書(案)について、審議を行った。

その結果、徳山ダムは治水・利水(流水の正常な機能の維持)について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、徳山ダムについては適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

#### i) 防災操作

- ・横山ダムとの連携操作において評価をしていることは良い。なお、水位低減効果については、水防団の待機・出動の軽減効果なども示すとよい。

#### ii) 利水補給

- ・徳山ダムの特徴的な目的である異常渇水対応にも効果があったことについて、評価に明示した方がよい。
- ・流水の正常な機能の維持に関しても、新規利水と同様に関連施設の完成後に補給される部分があるので追記すること。

#### iii) 堆 砂

- ・なし

#### iv) 水 質

- ・貯水池底層のDOの挙動と選択取水設備の操作との関係、及び、底層の水温上昇の要因について、今後検討すべきである。
- ・水質の評価について、全体的に概ね変化がないとの評価は良いが、底層のDO等、一部水質的に変化が見られるものもある。それらも含めて正確に表現した方がよい。

#### v) 生 物

- ・ダム湖にいる魚の繁殖の場所として上流河川が果たしている役割について、ダム湖と上流河川との連続性の観点から検討するのが良い。

- ・植物の重要な種を保存するための移植の経験を踏まえて工夫した結果を他ダムにも反映させている。植物の重要種の移植の効果について、一部消失したものについても、引き続き検討されたい。
- ・川に依存する哺乳類であるカワネズミにも今後着目するとよい。

vi) 水源地域動態

- ・徳山ダム周辺施設の利用者の減少については、近隣以外の人たちの行事参加や施設利用に向けた取り組みの努力が必要である。

- 定期報告書については、了承する。委員からの意見等は、提案（発言）の趣旨を踏まえ定期報告書に反映させること。

## (2) 徳山ダム建設事業 事後評価について

(以下について、中部地方ダム管理等フォローアップ委員会より、中部地方整備局事業評価監視委員会へ報告する)

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた徳山ダム建設事業の事後評価書(案)について、審議を行った。

### 【今後の事後評価の必要性】

「徳山ダム建設事業」は、事業効果の発現状況から今後の事後評価の必要性はないと考えている。

### 【改善措置の必要性】

現時点では、「徳山ダム建設事業」に対して、事業効果の発現状況や管理状況から、改善措置の必要性はないと考えている。

### 【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等の必要性】

事業評価手法は妥当と考え、現時点での見直しの必要性はないと考えている。

### 【その他】 各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

#### i) 防災操作

- ・なし

#### ii) 利水補給

- ・なし

#### iii) 堆 砂

- ・なし

#### iv) 水 質

- ・貯水池内底層部の水質の挙動について今後とも注意して監視していく必要がある。

v) 生 物

・なし

vi) 水源地域動態

・なし

○上記のとおり、事業評価監視委員会へ報告する。



(3) 「第4回長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会」  
からの報告について

長良川河口堰の更なる弾力的な運用（フラッシュ操作）について、これまでの調査結果及び調査において生じた課題等について、モニタリング部会でなされた説明及び、部会における審議での意見等も含め、報告がなされた。

報告事項に直接関係する意見等は特になし。

#### (4) その他報告

平成23年度の年次報告の概要についての説明、及び、平成24年のダム等の管理に係わる主な出来事についての報告があった。

報告事項に関する意見等は特になし。